

孺恋村地域おこし協力隊募集要項 (スマート農業・スマート防災プロジェクト)

ドローンで農業と防災をつなぐ。
孺恋村スマート農業プロジェクト始動。



【キャベツ出荷量日本一のむら「孺恋村」】

群馬県の最西端に位置する孺恋村は、標高約800～1,400mの高原に広がる人口約8,900人の村です。7月の最高気温は30.6℃と比較的涼しい一方で、1月の最低気温は-12.8℃と冷え込みが激しく、ひと冬で2～3回程度の雪かきが必要です。

隣の長野県と接する孺恋村では、買い物などの生活圏を長野県上田市・軽井沢町とする住民も多いです。また、都内まで約2時間（自家用車1時間＋北陸新幹線1時間）という好アクセスな立地は、仕事にも遊びにも便利な距離の田舎です。

孺恋村では、冷涼な気候を活かした高原野菜の生産が盛んで、特に**夏秋キャベツは出荷量日本一**。広大な高原に広がるキャベツ畑は、この村の象徴的な風景です。

一方で、全国の農村地域と同様に、農業従事者の減少や高齢化といった課題も抱えています。さらに孺恋村は標高1,000mを超える山間地に位置し、村の面積も広大なため、災害時の初動対応にも独自の課題があります。

こうした課題を解決し、未来に持続可能な地域をつくるため、孺恋村では現在、未来技術を活用した新しい取組に挑戦しています。



【地域おこし協力隊を募集する理由って？】

今回の募集は、孺恋村が取り組んでいる**未来技術を活用したスマート農業・スマート防災プロジェクト**に関わるものです。

孺恋村は現在、内閣府の「未来技術社会実装事業」に採択され、「**ドローンを活用したフェーズフリー型スマート農業およびスマート防災DX**」というプロジェクトに取り組み始めました。

この事業の背景には、孺恋村が直面しているいくつかの課題があります。

例えば

- ・ 農業就業人口が5年間で**20%以上減少**
- ・ 農家1戸あたりの管理面積の増加
- ・ 山間地特有の災害リスク
- ・ 農業と防災の仕組みが別々に運用されている現状

このままでは、日本一のキャベツ産地を維持することも、地域の安全を守ることも難しくなります。

そこで孺恋村では、ドローン・衛星・GISをはじめとする未来技術を活用し、**農業と防災を同時に強くする新しい地域モデル**をつくらうとしています。



【平時は農業、災害時は防災】

今回のプロジェクトの大きな特徴は「フェーズフリー」という考え方です。

例えばドローンを、平時には

- ・農地の測量
- ・作物の生育管理
- ・農薬散布

など農業分野で活用します。

そして災害時には

- ・被災状況の把握
- ・被災直後の地図作成
- ・物資輸送

など、防災活動にそのまま転用します。

つまり**普段の農業活動が、そのまま災害時の防災力になる**。そんな仕組みを孺恋村でつくろうとしています。

具体的には、農地を高精細に分析して、土地の肥沃度を調査することで、土地の状態に応じて肥料の量を調整することが可能になります。そうすることで、農作物の**品質が均一化**し、さらに肥料の削減で**環境にも好影響**で、**コスト削減**に繋がります。

その浮いたコストを**デジタル技術に再投資**することで、**先進技術を活用した新しい農業モデルの構築と普及を進める**ことができるようになります。



【どうして地域おこし協力隊なのか】

現在このプロジェクトには、総務省の制度を活用し民間企業から派遣された**地域活性化起業人**が中心となって取り組んでいます。

しかし、この制度は**最大3年の任期**と定められています。そのため、この事業を持続的に運営していくためには**地域に定着し、将来この事業を担う人材**を育てていく必要があります。

そこで今回、孺恋村では**地域おこし協力隊**としてこの事業に関わる人材を募集することにしました。

任期中にプロジェクトの実務を学び、将来的には起業を経て、ドローン・衛星・GISをはじめとする未来技術を活用し、**農業と防災を同時に強くする新しい地域モデルを実現するための伴走支援者として自らの事業を推進する**、そんな未来と一緒に描ける方を探しています。

【協力隊の活動内容】

今回の協力隊には、単なる作業ではなく、孺恋村における**ドローンや先進技術の活用を推進するための仕組みづくり**を担っていただきます。

例えば

- ・本事業を推進するための体制づくり
- ・平時のスマート農業を利活用するための運用体制構築
- ・先進技術を用いた災害対応を行うための運用体制構築
- ・村内外のドローン事業者や関連事業者との連携
- ・農家をはじめとする村内関与者との連携
- ・スマート農業や農業DX、防災DXの普及活動（勉強会の企画・参加）
- ・事業全般の広報やプロモーション

などです。

また将来的には、**農家さんに先進技術導入を支援する伴走役としての役割を担っていただき、地域の仕組みづくりに関わっていただく**ことを期待しています。



【一緒に働く人】

協力隊の活動は、孺恋村役場や地域の農業者、ドローン事業者などと連携して進めます。

また、任期中の事業運営は、地域活性化起業人として活動している担当者が中心となって進めます。

協力隊はそのもとで**実務を学びながら**、将来の運用責任者として経験を積んでいきます。

【活動のイメージ】

●1日のスケジュール例

8:30 出勤

午前 事務・関係者との調整

午後 現場作業・視察

夕方 データ整理・打ち合わせ

17:15 退庁



別の日には

- ・資格取得のための勉強
- ・先進地域の視察
- ・各種協議会等の運営支援

などを行うこともあります。

●3年間の活動イメージ例

1年目 事業やシステムの理解、開発への参加

2年目 実証実験や運用管理の経験を積む

3年目 社会実装、広報、任期後の事業準備

【こんな人に来てほしい】

- ・新しい技術に興味がある人
- ・自分で学びながら成長できる人
- ・ゼロから仕組みを作ることが好きな人
- ・地域と関わりながら仕事をしたい人
- ・将来的に地域で起業したい人

そのほかに、協力隊にとって重要なことは、「税金を使って活動している」という考え方を持つことです。地域おこし協力隊の活動には、公益性が求められるという制度の趣旨を理解し、地域のために主体的に活動できる方を歓迎します。

未経験でも構いません。大切なのは「地域の未来を一緒に作りたい」という気持ちです。

【必要な資格】

- ・普通自動車運転免許

※ドローン関係の資格は任期中に取得可能なため、必ずしも応募時に取得している必要はありません。

【任期後のイメージ】

任期終了後は**ドローン関連事業としての起業**を想定しています。

例えば

- ・農業分野のドローンサービス
- ・空撮・測量
- ・災害対応ドローン運用

など、地域のニーズを活かした事業展開が考えられます。

孺恋村としては、将来的に立ち上げた**法人へドローン関連事業の一部を委託**することも視野に入れていきます。

【任期中・任期後の支援】

孺恋村では、協力隊が安心して活動できるよう、次のような支援を行います。

●任期中

- ・ドローン資格取得や研修への参加機会
- ・活動報告会や広報によるPR
- ・企画立案や地域との調整支援

●任期後

- ・起業・事業承継補助金（上限100万円）
- ・空き家改修補助（上限100万円）

【最後に・・・】

孺恋村では、今、**未来技術を使って地域課題を解決する新しい挑戦**が始まっています。

日本一のキャベツ産地を支える農業、そして地域の安全を守る防災。

その両方に関わるこのプロジェクトは、全国でもまだ例の少ない取り組みです。

地域の未来を一緒につくる仲間としてあなたの挑戦をお待ちしています。



1. 活動概要

- (1) 孺恋村の「ドローンを活用したフェーズフリー型スマート農業およびスマート防災DX」に関する業務
- (2) 孺恋村地域おこし協力隊に関する会議・研修・報告会等への参加
- (3) 村内各種イベント（キャベツマラソン、つまごい祭り等）への参加

2. 募集対象

- 下記の条件を満たす方
 - (1) 年齢満18歳以上から60歳以下
 - (2) 性別は問いません。
 - (3) 3大都市圏をはじめとする都市地域等（条件不利地を含まない市町村）に在住の方で、孺恋村へ生活拠点を移し、委嘱後に住民票を異動できる方
 - (4) 普通自動車免許を取得している方（採用までに取得見込も含む）
 - (5) パソコン（ワード、エクセル、メール等）の知識を有し、活用できる方
 - (6) 心身ともに健康で誠実に職務を行うことができる方
 - (7) 将来孺恋村内に定住する意思のある方

3. 募集人員・活動開始日・就業場所

- 募集人員：1名
- 活動開始日：令和8年7月1日または8月1日のいずれかより内定者と協議の上決定
- 勤務地：孺恋村役場（群馬県吾妻郡孺恋村大字大前110番地）、その他各現場

4. 活動時間、日数

原則1日7時間、月20日とし、合計月140時間（最低限度：月84時間かつ月12日以上）
※活動時間が月140時間に満たない場合、1時間あたり2,078円の単価に基づき報償を支払います。

5. 休暇

忌引き及び育休等のやむを得ない事情で村長が特に必要と認める場合、取得可。
※休暇を取得した結果、ひと月あたりの活動時間が月140時間に満たない場合は、その時間が活動時間から差し引かれます。

6. 活動形態及び期間

- (1) 地域おこし協力隊員として孺恋村長が委嘱します。
委嘱期間：1年（年度毎に更新し、最長3年間）
- (2) 隊員個人と村が「孺恋村地域おこし協力隊業務(個人事業主型)」の業務契約を締結し、個人事業主として活動します。孺恋村及び受入先との雇用関係はありません。
- (3) 協力隊員としてふさわしくないと判断した場合等は、委嘱期間中であっても委嘱を取り消すことができるものとします。

7. 報償費

月額上限291,000円（左記金額から所得税が控除されます。）
※前月の活動時間及び活動日数に応じた額を月額上限額の範囲内で翌月払い

8. 待遇・福利厚生

- (1) 国民健康保険及び国民年金について、各自で加入してください。
- (2) 住居は個人で契約いただきます。任期中は「孺恋村地域おこし協力隊活動費等補助金交付要綱(※)」の規定に基づき上限月40,000円(光熱水費及び引越費用は対象外)まで補助対象です。希望があれば、物件や不動産仲介業者を紹介し、住居選定を支援いたします。
- (3) 車両は、自家用車をご用意いただくか個人で借り上げてください。任期中は「孺恋村地域おこし協力隊活動費等補助金交付要綱」の規定に基づき、車両借上料上限月40,000円、燃料費上限月20,000円まで補助対象です。
- (4) その他、任期中の地域おこし協力隊活動に必要な経費は「孺恋村地域おこし協力隊活動費等補助金交付要綱」の規定に基づき補助対象となります。詳細はお問い合わせいただくか、孺恋村ホームページにてご確認ください。
- (5) 副業は地域おこし協力隊業務に支障のない範囲で可能です。
- (6) 応募・選考・転居等に伴う経費については応募者の負担となります。
- (※) 「孺恋村地域おこし協力隊活動費等補助金交付要綱」は孺恋村地域おこし協力隊募集ページまたは以下のURLよりご覧いただけます。
https://www.vill.tsumagoi.gunma.jp/reiki_int/reiki_honbun/e246RG00000812.html

9. 現地説明会【参加必須】

孺恋村では、後に「こんなはずじゃなかった」というミスマッチを防ぐため、現地説明会を開催しております。応募をご検討の方は、まずは、こちらの現地説明会にご参加いただき、地域をご自身の目で直接見ていただき、ご納得の上で本募集にご応募ください。当日は役場担当職員や受入先とお話しする機会を設けますので、疑問点や不安な点などなんでもお気軽にご相談ください。

なお、恐れ入りますが現地説明会に要する交通費は自己負担となりますのでご了承ください。

- (1) 開催日 Web事前説明：**令和8年5月13日(水) 19:30~21:00**
現地説明会：**令和8年5月17日(日) 13:00~16:30**
※両日ご参加をお願いします。
- (2) 申込締切：**令和8年5月10日(日)**
- (3) 申込方法：申込フォームより必要事項を入力しお申し込みください。
(申込フォームURL) <https://forms.gle/6KGNFUJMwwmtZjHm8>



申込フォーム

10. 応募方法

- (1) 現地説明会の申込
応募の前に必ず「Web事前説明・現地説明会」へご参加ください。
(申込フォームURL) <https://forms.gle/6KGNFUJMwwmtZjHm8>
- (2) 応募書類の提出
現地説明会参加後、以下①~④の書類を提出してください。
【応募書類】
 - ①孺恋村「地域おこし協力隊員」応募用紙
 - ②レポート(当村協力隊に応募した理由、村おこしにかかる意気込み、本事業推進における提案、任期終了後の目標・ビジョンの3点について記載したもの。形式・文字数不問。)
 - ③職務経歴書(様式任意)
 - ④住民票
- (3) 注意事項
書類はメール、郵送、またはご持参ください。返却はいたしません。メールでの提出の場合、PDF形式で提出してください。印刷した用紙をスキャンしての提出は不可です。
募集に関する質問は、電話・ファックス・メールまたは郵送でお願いします。

11. 選考の流れ

(1) 第1次選考（書類）

書類選考の上、可否を文書およびメールで通知します。

(2) 第2次選考（受入先面接） **予定日：令和8年6月2日（火）13:30～**

第1次選考合格者を対象に、第2次選考を受入先にて行います。第2次選考の概要は、別紙をご覧ください。詳細は、第1次選考結果通知後にお知らせします。なお、恐れ入りますが第2次選考に要する交通費は自己負担となりますのでご了承ください。

(3) 第3次選考（村長面接） **予定日：令和8年6月15日（月）13:30～**

第2次選考合格者を対象に、第3次選考を孺恋村役場にて行います。詳細は、第2次選考結果通知後にお知らせします。なお、恐れ入りますが第3次選考に要する交通費は自己負担となりますのでご了承ください。

(4) 選考結果の通知

選考結果については、可否の判定を文書およびメールで通知します。選考内容についてはお答えできません。

(6) 住居の内見 **予定日：令和8年6月20日（土）**

採用内定者を対象に、移住後の住居の内見を行います。孺恋村内の複数物件を孺恋村役場担当者がご案内します。なお、物件の賃貸借契約は入居者ご自身でご契約いただきます。

12. 応募期間

令和8年5月24日（日）書類必着

※ご応募の前に必ず「Web事前説明会・現地説明会」へご参加ください。

（現地説明会の申込締切：令和8年5月10日（日））

13. 応募先及び問合せ先

〒377-1692 群馬県吾妻郡孺恋村大字大前110 孺恋村役場未来創造課宛

電話：0279-96-1257

FAX：0279-96-0516

電子メール：miraisozo@vill.tsumagoi.gunma.jp

孺恋村公式ホームページ：<http://www.vill.tsumagoi.gunma.jp/>